



ChoiceRESERVE 予約連携

V1.1 バージョンアップ° リリースノート



最終更新日：2019年8月28日

はじめに

リリースノートではChoiceRESERVE 予約連携の主要な新機能や既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能、機能強化には既存環境に影響を与える可能性があります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトを参照ください。

ヘルプサイト： <https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=24577385>

目次

1. ChoiceRESERVE からの連携対象項目を追加	4
2. 項目ラベルの変更	5
3. 予約オプション項目の連携方法の変更	5
4. バッチログ削除機能の追加	6
5. オブジェクト権限、項目レベルセキュリティのチェック処理の追加	6

1. ChoiceRESERVE からの連携対象項目を追加

「ChoiceRESERVE」から連携する項目を増やすために「ChoiceRESERVE 予約連携」に項目が追加されました。

対象のオブジェクトは、予約 (crsv_Reserve_c)、予約ワーク (crsv_ReserveWK_c) です。

予約、予約ワークともに下記の項目が追加されました。

#	ラベル	API 参照名
1	カテゴリ ID	crsv_categ_id_c
2	メインメニューID	crsv_mp_id_c
3	時間割 ID	crsv_timetbl_mp_id_c
4	サブメニューID	crsv_sp_id_c
5	設備 ID	crsv_eq_id_c
6	担当 ID	crsv_staff_id_c
7	予約オプション ID	crsv_option_id_c
8	予約オプション	crsv_option_all_c
9	インターバル時間[分]	crsv_res_interval_c
10	決済 ID	crsv_payment_transaction_id_c
11	予約手続者	crsv_ins_loginid_c
12	最終更新日時	crsv_upd_ut_c
13	最終更新手続き	crsv_upd_kind_flg_c
14	最終更新手続者	crsv_upd_loginid_c
15	キャンセル手続き	crsv_cancel_kind_flg_c
16	キャンセル手続者	crsv_cancel_loginid_c
17	ゲスト用確認コード	crsv_cancel_guest_hash_c
18	メニュー詳細 ID	crsv_direct_id_c
19	URL 作成 ID	crsv_direct_calendar_id_c
20	予備 1	crsv_spare1_c
21	予備 2	crsv_spare2_c
22	予備 3	crsv_spare3_c
23	予備 4	crsv_spare4_c
24	予備 5	crsv_spare5_c
25	予備 6	crsv_spare6_c
26	予備 7	crsv_spare7_c
27	予備 8	crsv_spare8_c
28	予備 9	crsv_spare9_c
29	予備 10	crsv_spare10_c

2. 項目ラベルの変更

「ChoiceRESERVE」のバージョンアップにより、一部の項目のラベルが変更されました。

「ChoiceRESERVE 予約連携」でも同様にラベルが変更されました。

対象のオブジェクトは、予約 (crsv_Reserve_c)、予約ワーク (crsv_ReserveWK_c) です。

予約、予約ワークともに下記の項目のラベルが変更されました。

#	API 参照名	旧ラベル	変更後ラベル
1	crsv_res_utime_c	予約日時	開始時間
2	crsv_option_c	オプション	予約オプション(旧)
3	crsv_usr_mess_c	メッセージ	備考欄
4	crsv_count_flg_c	受付	予約手続
5	crsv_pc_mb_c	PC 携帯分類	デバイス
6	crsv_payment_status_c	決済	決済ステータス

3. 予約オプション項目の連携方法の変更

予約オプション項目への連携方法が変更になりました。

これまでの連携対象は先頭 255 文字まででしたが 5,000 まで拡張しました。

ラベル	API 参照名	連携方法	備考
予約オプション(旧) ※V1.0 では「オプション」	crsv_option_c	先頭 255 文字を連携	項目ラベル変更
予約オプション	crsv_option_all_c	すべての文字列を連携	新規追加項目

※ 「ChoiceRESERVE」の利用方法を確認し、「ChoiceRESERVE」の予約オプションの最大文字数が 255 文字を超える場合は、「ChoiceRESERVE 予約連携」に新規追加される予約オプション項目への変更を検討してください。

4. バッチログ削除機能の追加

予約連携バッチで登録されるバッチログを削除する機能を追加しました。

これまで、削除機能がなかったため、ビューから 1 件ずつ削除するか、開発者コンソールなどでコードを記述して削除する必要がありましたが、今回のバージョンアップで、一括削除が可能になりました。

当機能はバッチ処理により削除を行います。システム管理者が Salesforce の [Apex をスケジュール] 機能を使用して、任意のタイミングで削除機能呼び出せるようになりました。

5. オブジェクト権限、項目レベルセキュリティのチェック処理の追加

各機能を使用する際に、それぞれの機能ごとに必要なオブジェクトの権限（参照、作成、編集、削除）と、項目レベルセキュリティ（参照アクセス権、編集アクセス権）をチェックするようにしました。これにより、権限の付与が適切でないユーザーの利用を防げるようになりました。